

テーマ5 計画を確実に進めていくための人づくり

施策の柱5.1 本計画推進のための庁内における環境意識の向上と人材育成

目標17

庁内における環境意識の向上を図るために、茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの周知啓発を徹底するとともに、生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習の機会を積極的に提供します。また、研修への参加、先進的取り組みを行っている自治体等への視察を積極的に実施します。

【目標担当課：環境政策課・景観みどり課】

■目標17の進捗状況

●茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステム(C-EMS)の周知啓発

項目	実施時期	内容
課長級職員研修	4月	環境問題解決に向けた自治体の役割、C-EMS運用のポイント説明(講師:(株)知識経営研究所)
新採用職員研修	10月	茅ヶ崎市の環境、C-EMSの説明(講師:環境政策課職員)
外部監査	1月	文書監査・訪問監査および前回外部監査結果への対応などに対する総合的な評価(報告書は市ホームページ、イントラネットで公表)
課内研修	随時	環境活動目標設定研修・新任異動者レク(適宜)・法令遵守を確認する会(4半期に1回)、環境リスク対応研修(年に1回以上)
C-EMSレターの発行	不定期	外部監査実施結果、各年度の取組結果、夏・冬の節電対策などを全庁的に伝達し情報共有。

●生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習機会

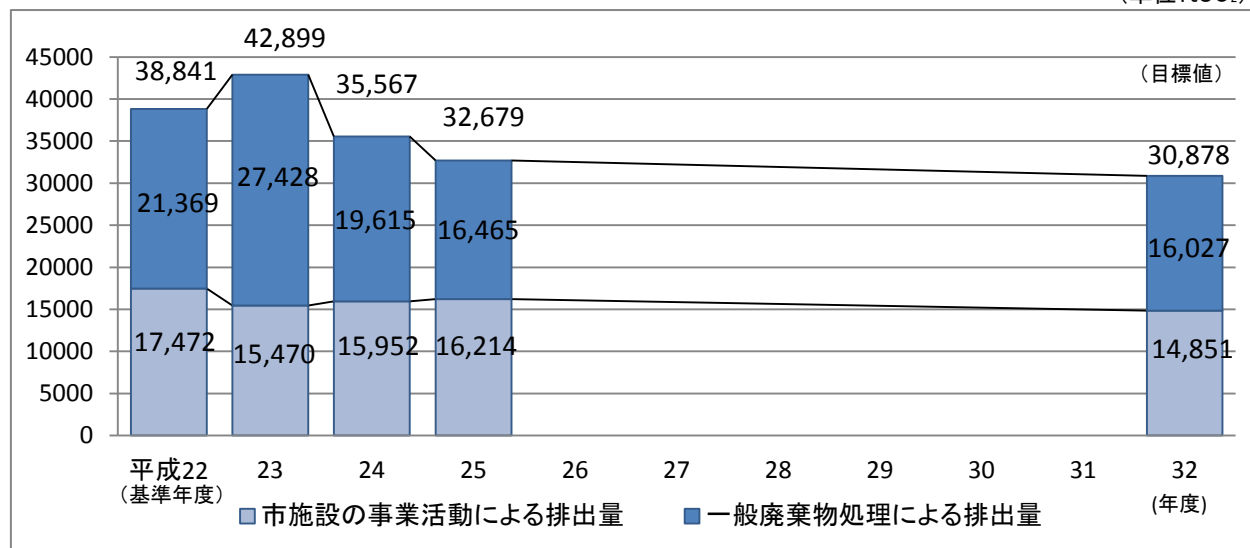
項目	内容
自然環境(生物多様性)	・都市部や建設部、環境部への異動者等を対象にした研修を実施しました。 ・庁内イントラネットにより全職員がいつでも資料を閲覧可能な状態にしています。
地球温暖化	・茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステム(C-EMS)の周知啓発と併せて実施しました。

●外部研修への参加(平成23年度から26年度までに受講のもの)

主催	主な研修内容	参加職員の所属課
環境省環境調査研修所	環境教育、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル、土壌汚染、水質汚濁など	環境政策課、環境保全課、資源循環課
神奈川県	水質システム、大気水質、アスベスト対策、水質汚濁防止法、水道、特定外来生物対策、みどり行政、景観行政など	環境保全課、景観みどり課
神奈川県環境科学センター	県・市町村環境学習担当者研修	環境政策課、環境保全課
(公財)かながわトラストみどり財団	みどりの実践団体交流会・研修会	景観みどり課
神奈川県森林協会 ほか	森林・林業研修会	
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター	連続講座「みどりを守り育む知恵・技術・心得」 ・里山の現状と未来 ・みどりの教育 ・植物社会学の知恵と技法 ・ふるさとの木とは？土地本来の自然とは？ ・都市で森をつくる ・ふるさとのみどりを守り育む	環境政策課、景観みどり課

(参考) 茅ヶ崎市行政の温室効果ガス排出量

(単位:tCO₂)



■ 目標の進捗状況に対する中間評価 (平成23～26年度)

評価	順調に進んでいる
平成22年度に運用開始した「茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステム(C-EMS)」について、各種研修や外部監査、情報紙の発行による情報発信などを通じ、全庁的な制度周知を図ってきました。制度に基づく環境配慮行動を実践し、市が排出する温室効果ガス排出量は基準年度(平成22年度)に比べ16%の削減となっています(「(参考)茅ヶ崎市行政の温室効果ガス排出量」を参照)。なお、市施設の事業活動による排出削減量は基準年度比7%減で、一般廃棄物処理による排出削減量は基準年度比22.9%減となっています。一般廃棄物処理に係る排出量を大きく削減できた要因としては、市民や事業者のご協力によりごみの排出量が減少したことによるものと考えます。 また、環境省や神奈川県をはじめとする外部機関が主催する研修にも積極的に職員を派遣し、実務に活かしています。 生物多様性に関する庁内周知については、市行政の実務の中で生物多様性への配慮が不十分な点があり、課題となっておりますが、新採用職員研修などの場で継続的、積極的に生物多様性の学習の機会を設けています。 これらのことから、目標に対して「順調に進んでいる」と判断しています。	

■ 目標の妥当性の検証と見直しの必要性

見直し	不要
庁内の環境意識の向上を測る指標の一つとして、行政活動における温室効果ガス排出量を参考として示します。	

重点施策32 庁内の環境意識の向上

33 庁内における人材育成

■施策の概要

- ・茅ヶ崎市独自の環境マネジメントシステムに基づき、庁内のさらなる環境意識の向上を図るとともに、環境配慮行動の率先的役割を果たします。
- ・環境に関する情報を行政内の全ての部署で共有します。
- ・生物多様性について積極的に学習の機会を設け、職員への周知を図ります。
- ・知識や技術を習得するための研修、先進自治体への視察等の実施を支援し、環境に関する専門的知識を有する職員を育成します。
- ・階層別職員研修のさらなる充実を図り、庁内横断的な施策をマネジメントできる能力を持った職員を育成します。

■平成26年度の取り組み

①C-EMSに基づく庁内の環境意識向上と環境配慮行動の実践

事業名	取り組み結果	担当課
C-EMS課内研修、新採用職員研修、マネージャー研修	・C-EMSマネージャー研修は、地球温暖化、温室効果ガス排出状況の推移状況の説明と自治体としての責務を果たすためのグリーン購入制度、廃棄物処理法などを内容として、課長級62名を対象に行いました。 ・各課での環境配慮活動を推進するための課内研修、新採用研修、新任異動者研修などを行いました。	環境政策課
C-EMS外部監査	・文書監査、訪問監査および前回外部監査結果への対応などに対する総合的な評価を行いました。 ・文書監査、市所管施設の訪問監査および前回外部監査結果への対応などに対する総合的な評価を行い、適切な運用がされていると評価されました。 ※詳細は市ホームページで公開しています。	
C-EMSレターの発行	・年2回発行し、庁内イントラネットにて啓発を図りました。 ・第19号：平成25年度のC-EMS取り組み結果、エコ管理賞を新たに制定など ・第20号：公用車に使用する燃料の状況とエコドライブ、交通安全講習など	
表彰制度「茅ヶ崎市役所エコオフィス賞」、「茅ヶ崎市エコ管理賞」の実施	・市職員や公共施設などで行う環境配慮活動を表彰する制度「茅ヶ崎市エコオフィス賞」では2つの取り組みがありました。 ・市の施設を管理する指定管理者が取り組む環境配慮活動を表彰する「茅ヶ崎市エコ管理賞」では9施設27件の取り組みの応募があり、うち7施設8件の取り組みがエコ管理賞を受賞しました(平成26年度より実施)。	

②自然環境、生物多様性についての職員への周知

事業名	取り組み結果	担当課
「茅ヶ崎市みどりの基本計画」の進行管理	・みどりの基本計画に位置づけられている各施策の進行管理に併せ、自然環境の保全や生物多様性への配慮について各担当課に伝えました。	景観みどり課
都市部局、建設部局、環境部局への異動職員への研修	・対象職員に対し、みどりの基本計画やコア地域の位置づけ等の研修を行いました。	
庁内イントラネットや通知による周知	・イントラネットを利用し、コア地域およびその周辺での、環境の改変等が想定される場合は情報提供するよう依頼を行いました。また、その旨を全課に通知し周知しました。 ・森林の伐採届について全課に通知し周知しました。	

③知識や技術を習得するための研修の支援、環境に関する専門的知識を有する職員の育成

事業名	取り組み結果	担当課
各種研修会への職員派遣	・環境省や神奈川県、その他外部機関が主催する各種研修に参加しました。 ・詳細は76ページの目標17をご参照ください。	環境政策課 環境保全課 資源循環課 景観みどり課
職員研修報告会の実施	・研修派遣等を通して学び、習得した様々な先進事例や専門的知識を職員間で情報共有し、職員の意識や知識の向上を図ることを目的として実施しました(5月23日開催)。	職員課

④階層別職員研修の充実、マネジメント能力の醸成

事業名	取り組み結果	担当課
新採用職員研修	・環境基本計画およびC-EMSの内容を中心に、環境政策課職員より説明しました。	職員課
担当主査級職員研修	・「マネジメント研修」を実施しました(7月9日～10日)。	
課長補佐級職員研修	・「マネジメント研修」を実施しました(11月11日～12日)。	
課長級職員研修	・チームコーチングの技術取得や、自分自身のリーダーシップスタイルを自己診断し、充足・未充足部分を把握することを目的とした「課長級職員研修」を実施しました(7月24日～25日)。 ・目標によるマネジメントの理論とその技術を体系的に修得することを目的とした「課長級職員Ⅱ研修講座」を実施しました(12月19日、1月27日)。「課長級職員Ⅱ研修講座」についてはフォロー研修も実施しています。	

■平成26年度予算執行状況

事業名	26年度予算額	26年度決算額	(参考)25年度決算額	担当課
C-EMS研修	165千円	162千円	158千円	環境政策課
C-EMS外部監査	381千円	378千円	372千円	
C-EMS消耗品	10千円	9千円	20千円	
担当主査級職員研修	617千円	579千円	549千円	職員課
課長補佐級職員研修	390千円	382千円	366千円	
課長級職員研修	390千円	382千円	366千円	
合計	1,953千円	1,892千円	1,831千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・重点施策の趣旨に沿った外部研修への派遣や庁内研修を実施しており、「庁内における人材育成」については概ね順調に進んでいます。 ・職員研修報告会において、研修の成果の発表を通じ職員の意識や知識の伝播を図りました。 ・C-EMSに基づく取り組みや庁内への啓発について、予定どおり実施できました。 ・平成26年度より「茅ヶ崎市エコ管理賞」を実施し、多くの取り組みの応募があり、環境配慮活動の取り組み事例をより多く得ることができました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・生物多様性に関する庁内周知についてはイントラネットを活用した周知にとどまっており、生物多様性への配慮が足りていない事案が発生しています。今後も周知を継続・強化していく必要があります。 ・環境に関する専門的知識の取得のための研修については、研修機会が少なかったため参加職員が多くありませんでしたが、今後も引き続き市町村アカデミーの研修等派遣研修の機会について各課へ参加を働きかけていきます。	



C-EMS
外部監査



資源の有効利用
広告を使ったごみ入れ
(左)と古布を使ったティッシュケース(右)
(萩園ケアセンター)